

卒業生

同志社大学
心理学部心理学科1年

福井 里奈 さん

北陸学院高等学校2024年度卒業

華道部では部長を務めながらボランティア活動にも積極的に参加。特別推薦枠を利用し、同志社大学へ進学。

個性を大切にする校風

先生方が私たち一人ひとりと向き合い、個性を大切にする校風が、自然と私の価値観として身についたからこそ、華道部も楽しめたと思います。花びらの色や形など一つとして同じ花はないように、部活も一人ひとりの個性を大切に活動を行いました。生け花のコンセプトを発表する場では、表現や考え方の違いに気づき合うことで「個性」をより磨き合うことができました。

努力を重ねた先に見つけた使命

1年生の時に同志社大学進学を目標にし、先生方のフォローを受けながら勉強方法を確立していきました。点数が上がるにつれ自信がつき、次の目標を立てるという前向きな連鎖が生まれたと実感しています。授業を通して、社会の一員として地域貢献や公共活動に携わりたいと感じ、ボランティア活動に参加しました。そこで学んだ社会とのつながりの大切さが、人の役に立つ心理カウンセラーになるという現在の目標につながっています。



3年次には難易度の高い作品づくりにも挑戦!一輪ずつ「個性」に向き合いました。



卒業レポート発表会では進路選択や大学での学びについて後輩の前で発表。

茶道で得た宝物のような学び

大切にしてきた茶道を続けられたのは、勉強との両立を後押しする教育方針のおかげです。茶道では、技術や知見をはじめ、コミュニケーションの大切さも学びました。そして、その学びを学校生活でも実践する中で、相手を理解し気遣う姿勢が身につきました。茶道を通して得られた成長は、自分の「賜物」として、人生に深く良い影響をもたらしたと感じています。

「看護師」に向かって突き進む日々

看護師を志してから、まず石川県立看護大学の公募制推薦枠に狙いを定めました。先生方は過去問題集の提供をはじめ、面接や志望理由の練り方まで、丁寧にサポートしてくださいました。また、定期的開催される学年集会で受験への意識が高まり、希望の進路実現につながったと感じています。今後は茶道や学校生活で身につけた相手を思いやる気持ちを持ち続け、患者さんに寄り添える看護師を目指して突き進んでいきます。



生徒会では議長として活躍。全員に伝わる話し方を追求しました。



校内外でのお稽古を9年間続けました。まだまだ精進します!

卒業生

石川県立看護大学
看護学部看護学科1年

上内 快里 さん

北陸学院高等学校2024年度卒業

小学生から茶道を習い始め、高校では生徒会に所属しながら、茶道部部長も務める。公募制推薦枠を利用し、石川県立看護大学に進学。